

## 生活空間の水害リスクを見える化するため 「まるごとまちごとハザードマップ」を設置します！

地域の洪水のリスクや避難に関する情報を、生活空間である“まちなか”に表示する「まるごとまちごとハザードマップ」を、区内の洪水浸水想定区域内の電柱に設置します。

### 1 スケジュール

～令和4年12月 地域の方々を交えた設置場所検討作業  
令和5年1～2月 設置作業

### 2 設置予定地区

- (1) 綱島地区
- (2) 大倉山地区

※各地区 50 箇所予定  
次年度以降、他地区へ拡大予定です。

### 3 表示内容

- (1) 想定浸水深  
河川が氾濫した場合に考えられる最大の浸水深 (○. ○m)
- (2) 指定緊急避難場所  
設置地点に対応する避難場所名 (○○小学校)
- (3) 想定浸水深テープ  
(1) の浸水深の高さに青色のテープを巻き付けます。



電柱への表示イメージ

### まるごとまちごとハザードマップ

水害に関する情報を“まちなか”に表示して自然に目に入るようにすることで、日頃から水防災への意識を高めていこうとする、国土交通省が推奨する取組です。

全国 180 の自治体（平成 30 年 9 月時点）において実施され、ハザードマップの認知度向上などにつながっています。



(参考) 港北区洪水ハザードマップ

お問合せ先

港北区総務課長 野村 絹恵 Tel 045-540-2204